

三鴨小だより

学校教育目標
やさしい子 かしい子 たくましい子

第23号

発行日 令和元年11月22日
発行者 三鴨小学校長 廣田 昌英

今からでも？

秋もめっきり深まりました。秋といったら.....子供たちは様々なものを連想してくれます。色付いた紅葉が枯れ葉にしか見えないような、まるで季節感のない私にはうらやましい限りです。そんな折、阿部さんがまた掲示物を一新してくれました。今度は小倉百人一首の秋の歌です。綾瀬千早の活躍を描いた「ちはやふる」で有名な「ちはやぶる 神代も聞かず 竜田川.....」などの2句が、手作りの紅葉した山々や五重の塔をバックに、歌の意味を添えられて紹介されています。さらに、鮮やかに色付いたみかも山や渡良瀬運動公園の紅葉の写真まで。身近にこんなきれいな場所があったんですね。それにしても手が込んだ作品です。私もこんな環境の小学校で育っていたら、もう少しマシな大人に.....っていう可能性はないでしょうか？

三鴨小学校自治会

この日の昼休みは、各委員会と各クラスの代表で構成された代表委員会が開かれました。私がおの様子をのぞきに行くと、担当の先生が不在の中、予め知らされていた「廊下の歩き方について」という議題について、既に話し合いが始められていました。さすがは代表の集まりですね。感心してしまいました。所用でほんの少しだけ遅れてきた根岸先生も、「みんなの自主的な姿に驚きました。感激です。」と驚嘆していました。そしてその後すぐに、6年生の女子から質問がありました。それは「先生、この話し合いは私たちにどうしてほしいんですか？」.....いやはや、なんと核心を突いた質問なんでしょう。なんて立派な小学生なんでしょう。根岸先生はニッコリ笑って「みんなには、三鴨小の子供たちの廊下の歩き方に何か問題がないか考えてほしいんだ。そしてもし問題があるなら、その解決方法を考えてほしいんだ。」それに納得し

た子供たちはさらに話し合いを続けるのでした。うれしいですね。そこには立派な自治の精神が見て取れました。

実践に繋げてね

この日の6年生の1, 2時間目には、藤岡小学校在籍の学校栄養士である須藤さんが来校してくださり、坂本先生と一緒に食育の授業を行っていただきました。私がおの様子を見に行ったときは、ちょうど各自が理想の給食の献立を思案中でした。もちろん、栄養バランスを最優先する献立ですが、やはり子供たちにとっては鶏の唐揚げやハンバーグは欠かせないようです。“サバ”や“ひじき”といったシブい献立を考えた子もいました。そして中には“バンサンスー”.....なんだそりゃ？と思ってネットで調べたら、学校給食では定番の春雨サラダのことだそうです。私も大好きだった春雨サラダ、名前はバンサンスーだったんですね。大好きな組み合わせで栄養バランスを考えた6年生諸君、まずは家族にごちそうすることから始めようね！

夢のコラボ？

大好きな組み合わせと言えば、1年生が図工の時間に描いた絵が廊下に掲示されていました。それは題して「好きなものの、楽しかったことの夢の足し算」でした。きっと1年生はワクワクしながら描いたんでしょうね。空+遊園地で「空の遊園地」、海+かくれんぼで「海でかくれんぼ」、「鳥と一緒に世界旅行」、「お花畑でキャンプ」、「恐竜プール」（いやいや、危険すぎて泳げないだろ！）など、カラフルで楽しい絵がビッシリと並んでいました。中には「海のおうち」という作品も。この子は「おうち」が大好きなんでしょうね。家族が知ったらきっと大喜びして、晩ご飯のおかずが一品増えちゃうことでしょう。私は.....「日曜日に食べる給食」の絵でも描こうかなあ...